

学習指導案

地理歴史科（世界史A）学習指導案		月 日	平成21年 6月 18日(木)		
		時 限	4時間(11:50~12:40)		
普通科	2年5組	場所	2年5組教室	指導者	水越 甘奈
単元	第3章 ヨーロッパとアメリカの諸革命			教科書	明解 新世界史A(帝国書院)
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米の諸革命に登場する人物を通じ、欧米の諸革命への関心を高め、社会の産業化・国民国家の形成に過程を意欲的に追求しようとしている。(関心・意欲・態度) ・欧米の諸革命を考察し、社会の産業化や国民国家形成に繋がっていくことを判断できる。(思考・判断) ・欧米の諸革命に関連する地域や場所の位置を把握することができている。(技能・表現) ・18世紀後半から19世紀にかけて起こった欧米の諸革命の内容を、大まかにとらえ理解できている。(知識・理解) 				
指導計画	<p>1 アメリカ独立革命 …2時間 2 フランス革命とその影響 …3時間(本時はその1時間目) 3 ナポレオン支配からウィーン体制 …1時間 4 産業革命と各経済思想 …1時間</p>				
本時目標	<p>資料や人物を通してフランス革命に興味・関心をもって取り組んでいる。(関心・意欲・態度) フランス革命が引き起こされた原因や革命の過程を理解できる。(知識・理解)</p>				
準備資料	自作プリント、パソコン、スクリーン、プロジェクター、スピーカー、写真画像、映画DVD:『マリー・アントワネット』(ソフィア・コッポラ監督・2006年)、マカロン(お菓子)、資料集「世界史のミュージアム」(東京法令)				
段階	指導内容	学習活動	学習形態	時間(分)	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のパリの名所、バスティーユ広場、コンコルド広場の写真をスクリーンに映し、かつてどんな事があった場所なのか考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、本時の学習内容について考える 	一斉	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の準備ができているか確認する。 ・スクリーンが見える位置に生徒を移動させる。
展開1	<p>A 18世紀フランス国内事情を理解させる。 A王族の生活(ルイ16世、マリー・アン・トワネットを中心に) 映画『マリー・アントワネット』の一部を見せる。(約4分) 王族からフランスに定着したお菓子、「マカロン」を試食し、当時の生活を体験させる。</p> <p>B 民衆の生活 旧体制(特に身分制)をスクリーンで説明する。 第三身分の生活例をスクリーンで説明し、革命の原因について考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映画のワンシーンを鑑賞する。 ・マカロンを試食する。 ・映画を見て気付いたこと、マカロンから当時の王族の生活を想記した感想等をプリントに記入し、発表する。 ・旧体制の身分制度を理解し、プリントに記入する。 ・王族の生活と対比し、自営農民になったつもりでセリフを考え記入し、発表する。 	<p>一斉 個別 一斉 一斉 個別</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・画像の見え方や音量を考慮する。 ・マカロンの説明をする。 ・机間巡回をして、生徒のプリントの記入状況を確認する。 ・生徒の顔をスクリーンに向ける。 ・スクリーンをみながら適宜プリントに記入させる。 <p>評: 資料や人物を通してフランス革命に興味・関心をもって学習に取り組んでいる。</p> <p>(ワークシート: 関心・意欲・態度)</p>
展開2	<p>2. 革命の勃発とその過程を理解させる。</p> <p>A 三部会と国民議会 課税→三部会開催→三部会紛糾→国民議会結成の流れを説明する。</p> <p>B 革命の勃発 バスティーユ牢獄の襲撃を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を見て説明を聞きながら、プリントに記入する。 ・個々の出来事がなぜ起きたのかを考える。 	一斉 個別	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり深入りせず、簡潔な説明に徹する。 ・プリントにしっかり記入ができるか確認する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容をプリントで振り返る。 ・本時の導入でみた写真(バスティーユ広場)は何があった場所なのか振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの問題に答えて、本時の学習内容を振りかえる。 	個別 一斉	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が問題に取り組むことができているかどうかを確認する。 <p>評: 革命の原因や革命の過程を理解できる。</p> <p>(ワークシート: 知識・理解)</p>

(2)

(2)-1 18世紀後半フランスの国内状況

△ 当時の王族の暮らし

王:(◎) 王の顔
妃:() 妃の顔
住んでいたところ:()

質問1 マリーアントワネットのぜいたく

- ・
- ・
- ・

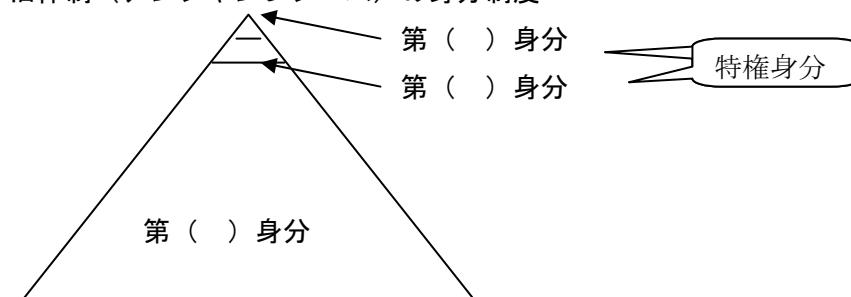
質問2 お菓子(マカロン)

質問3 王族の生活感想

質問4 生活費の他の金の使い道

△ 国民の暮らし

旧体制(アンシャンレジーム)の身分制度



質問5 自営農民の生活をみて

質問6 第三身分(農民)セリフ



(2)-2 革命の始まり

△ 三部会と国民議会

財政難で特権身分にも課税

質問6 特権身分の気持ち

↓↓
↓↓

貴族の抵抗「」の開催要求(1789.5)

→ところが特権身分と第三身分で争い

↓↓

第三身分は「」を作った(球戯場の誓い)

質問7 話を聞いた第三身分の気持ち

↓↓
↓↓

△ 革命の勃発

()年7月14日 フランス革命勃発

()牢獄の襲撃

↓↓ 全国に

騒ぎを鎮めるため

「国民議会」は 封建的特権の廃止を決定

「」を発布(1789.8)

まとめ

18世紀後半のフランスは、王妃()による浪費や戦争などで財政が厳しかった。また、領主制度と、聖職者からなる第()身分、貴族からなる第()身分、その他の平民からなる第()身分で構成される身分格差が国民を苦しめていた。時の国王()のときに、貴族にも課税が強化されようとすると、貴族たちは()会の開催を要求した。三部会では特権身分と第三身分の間で対立が起こり、第三身分は()議会を結成した。貴族らが国王たちと組んでこれらの動きを弾圧しようとすると、民衆は1789年7月14日、()牢獄を襲撃した。こうしてフランス革命が始まった。